



日口交流

発行: 特定非営利活動法人日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page: <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14

麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax: 03 (5563) 0752



謹賀新年



皆さま、明けましておめでとうございます。2022年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないなかで、今年も新しい年を迎えることになりました。幸いにして日本では奇跡と言われるほど感染者の数が減っていますがまだ予断が許される状況ではありません。

米国、欧州各国等では激しく感染者数が増加しています。ロシアにおいても連日4万人前後の新規感染者が出ています。最近ではオミクロン株という新たな変異種が見つかっています。

新型コロナ感染症の影響を受けて日口間では相互の往来が困難な状況が続いているため、協会の活動に大きな支障を来していることは残念なことです。年初に予定した企画の実現を見送らざるをえないものも少なからずありました。

しかしながら厳しい環境の中にあっても会員の皆様のご協力をいただき、種々工夫をしながら状況に即した交流を続けることができたことは素晴らしい事です。ここに改めて昨年一年間に皆様からいただいた多大なご支援と積極的な活動に対して心よりお礼を申し上げます。

昨年実現できた活動の主なものを挙げれば、定例のロシア語教室他、大使館や通商代表部との交流を通じて日本語教室、着物の着付け、活花、日本料理講習会、大相撲観戦など日本文化の紹介活動を実施してきました。また駐日ロシア連邦文化科学協力庁の要請を受けて、ガガーリン大佐による人類初の有人宇宙飛行60周年に因んだ記念行事を日本各地で実施することができました。更にはサンクトペテルブルクとオンラインで国境をまたいだ講演会を実施致しましたが、これは新型コロナ感染の環境下であればこそ実現ができた試みであり、今後の交流の新しい可能性を開きました。

今年もしばらくの間我慢が必要な日々が続きそうですが、その中でもロシアの組織や仲間たちと一緒にできることを見つけていきたいと思っています。またこうした時期であればこそ、お互いに知恵を絞って、積極的に交流の推進を図っていくことが大事であると考えています。そして一日も早く世界に、なにかんずく、日本とロシアにおいて日常が戻って、協会による交流が一層進んで更に絆が強くなることを皆様と一緒に祈念したいと思います。

最後に皆さまにおかれては、ご自身とご家族を守り、また周囲の大切な方々を守りながら、今年も健やかな日々を過ごして頂きたいと心より願っています。 (会長 朝妻幸雄)



新年あけましておめでとうございます。

国際社会が新型コロナウイルスのパンデミックと闘った昨年、ロシアと日本のみならず、全世界の国々は幾多の試練に直面してまいりました。困難な状況の中で、この大きな挑戦を克服するためには、人類全体の連帯並びに、国際協力のさらなる強化こそその必要性が高まってきました。コロナに関わらず、露日政治対話が首脳と外相レベルを含めて継続していました。特に、10月にプーチン大統領は岸田総理大臣と電話会談して、両国関係全体を互恵的に発展させていくことで一致しました。2022年には『露日地

域・姉妹都市交流年』開会式を実施し、その事業が両国の建設的な相互協力を示す新たな事例となることを期待しております。本プロジェクトが、両国民の友情と信頼の強化を目指す様々な事業のためのバトンとなることを願っています。

新年にあたり、皆さまに益々のご健勝とご多幸、ご繁栄をお祈りするとともに、露日関係が今後も力強く発展していくことを心より祈念いたします。

駐日ロシア連邦特命全権大使 M. ガルージン

.....

日口交流協会幹部及び会員の皆様！友人の皆様！

ロ日協会より貴協会に対し心より新年のお祝いを申し上げます！過ぎゆく2021年は皆様にとって大変な年となり、私たちの忍耐、持久力そして勇気が過酷な試練に晒された年となりました。パンデミックが多くの方で私たち両国間の友好と善隣関係の発展に関わる相互企画の通常の活動を妨げ、個人的な企画も同様に被害をうけました。しかしながら、なにをもってしても私たちの絆、私たち両協会間の長年の友好を切り裂くことはできず、またロシアと日本両国民の親交の進展を止めることはできません！

すべての試練と制約に関わらず、2021年にはロシアに於いて、また日本に於いても両国民間の関係の発展に関わる友好団体およびその他の組織は活発に活動を続けました。そして、私たちは、この困難な時期の挑戦に応える新たな活動方法、新たな現代的な交流の様式を見いだしました。この試練は私たちをより一層強くし、人々は自分自身とその力を信じ、新たな年2022年に行事の規模を拡大する意欲に満ちています。

私たちは善が悪に勝利すること、全世界で正義と幸福が勝利することを信じています。私たちは貴協会のご成功を心より祈念いたします！親愛なる友人の皆様、来る新年の幸せ、健康そして成功を！新年おめでとう！

ロ日協会会長 イーゴリ・ロマネンコ

理事長 ガリーナ・ドウトキン

書記局長 エヴゲーニイ・クルチナ



ロシア語懇親会

角田 涼子

12月5日日曜日、午後5時から、大門駅のすぐ近くにある新亜飯店が、ロシア語クラス受講者の懇親会会場でした。新型コロナウイルスの影響が長く続く中、このような会への参加は本当に久しぶりででした。

食事は、上海料理、点心等のコース料理で、皆で円卓を囲みました。色々なロシア語クラスから参加者が集まり、初めてお会いする方が何人かいました。

初めにそれぞれ飲み物を注文し、前菜が用意され、乾杯の後、自己紹介が始まりました。ロシア語クラスを受講している方々は、珍しい職業や独特な経験をされている方が多く、自己紹介の短いお話だけでも、大変興味深いものばかりでした。

自己紹介を聞くと、更に詳しく聞きたくなります。宇宙開発関係、神社関係、元ジャーナリストの方の話等、本当にびっくりする話ばかりです。数種類の炒め物、小籠包、スープ、炒飯等、美味しい料理を食べながら、皆で盛り上がったりと、座席が近い人と話したりと、2時間ほどがあつという間に過ぎてしまいました。もっと詳しく話を聞きたかったです。また、大きな円卓だったので、座席が離れていた方々の



お話は、あまり聞くことが出来なかった事が残念でした。

私はオクサナ先生のロシア語講座を2年程受講しました。それまでは独学で勉強していました。ロシア語講座を受講することで、学習のモチベーションを保つことが出来ています。また、独りでは分からなかった学習の進め方も学ぶ事が出来

ています。そして、今回の懇親会では、私自身ではお会いする機会の無かった方々とお話することが出来ました。

貴重な学びと体験の場を準備して下さった千葉さん、美味しいお店を紹介して下さいの中村さん、どうもありがとうございました。また、数十年かけて得た知識や経験をお話下さった皆さん、本当に楽しかったです。またお会い出来る日を、楽しみにしています。

コラム：私のロシア語との出会い・ロシア語学習歴(1)

今年5月に事務局長に就任しました島山堅蔵です。40年以上のロシア(ソ連)との付き合いを踏まえ、この先ロシア・ロシア人についての経験を語りたいと思っています。

初回は「私のロシア語との出会い・ロシア語学習歴！」です。ロシア語を勉強しようと決心したきっかけは父の2年半のソ連抑留経験です。小学校低学年の頃、父が晩酌時によく話した“たばこをもらえる不思議な3つのロシア語：Здравствуй！ Папироса есть？ Давай！（こんにちは！たばこ持ってる？くれ！）”を聞いたことでした。それが耳に残り、中学1年生でロシア語を勉強することを決心しました。ロシア語は英語に比べ学習初期に覚える文法が難しい点が強調されます。名詞・形容詞・動詞のみならず数字・名前も変化します。（しかし、文字に関しては、子音が多いロシア語の発音にはあの文字が適していると私は感じています。）

大学を卒業して40数年働きましたが、市場は一貫してロシア(ソ連12年間)でした。この間駐在は3回で合計16年半をロシアで過ごしています。商社での新人時代、専門がロシア語というだけで、周りから“すでにロシア語をマスターしている。”と思われ、実際は実力が追いついていないギャップに悩みました。そんな中、ロシア語をある程度マスター出来たきっかけは、“VAZ(ボルガ自動車工場)と締結したピストンリング一貫製造プラント契約”です。新潟県にあるR社の工場にVAZの専門家が研修・検収で来日する度に“通訳”として会社から同行を命じられました。最初はピストンリングというロシア語すら知らなかった私ですが、約1年半たったある日、R社の技術者が日本語で説明していた時、全く意識しないでロシア語で通訳している自分がいることに気づきました。この1年半の私の行動は次回お話しします。(事務局長)

お知らせ

●ロシア語クラス生徒募集中！

水曜 初級1A-1 (19:05~20:05) 初級1A-2 (20:05~21:05) 土曜 上級 (10:00~11:30)

オンラインクラスは月曜 準中級(18:00~19:00)、日曜 ゼロからクラス(18:00~19:00)

*事務所では少人数で実施し、消毒液、パーテーション等用意して十分配慮はしておりますが、受講の皆様はマスクの着用、換気、手洗い等、感染の予防にご協力お願いいたします。(緊急事態宣言の際は原則オンラインとなります。)

●テーマ別ロシア語・22年第1回

日時：2022年1月30日、2月6日、2月13日(日)13:30~16:00
場所：参加者へ後日連絡

会費：会員7,000円、一般8,000円

*協会事務局までお問い合わせください。

E-Mail: nichiro@nichiro.org Tel:03-5563-0626

お願い

NPO 日口交流協会では、ロシアでの日本の伝統文化などの紹介、国内でのロシア関連の学習会、ロシア人とのイベント交流など幅広い活動を続けています。これらの活動を一層推進させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。一口千円からいくらでも結構です。この度は野崎守二氏にご協力いただきました。ありがとうございます。

*御協力頂いた方に小さなロシア関連グッズを進呈中！
振込先：郵便口座 00160-9-66486、加入者：日口交流協会
連絡先：日口交流協会事務局 E-Mail:nichiro@nichiro.org
Tel:03-5563-0626 Fax:03-5563-0752



茶道体験交流

千葉麻里

日頃、文化交流に携わり、日本文化に関心のある大使館の方からのリクエストで、茶道体験をしていただくことになりました。2021年8月10日(火)午後1時から田町リーブラの和室を使用。リーブラは設備もよく、新しくなっているので居心地がいいのですが、コロナの中ではやや部屋が狭いので、2部屋借りることにしました。

水屋には、以前から時折お手伝いをお願いしているベテランの先生方を二人、大里先生と関先生に来ていただきました。床の間のお花は山岸先生に活けていただき、通訳は日本文化に詳しいオクサーナさんに、お運びをロシア語勉強中のジェームズさんをお願いしました。

主菓子は小布施堂の栗餡の練り切りで、美しい芙蓉の花をかたどったもの、干菓子里に老松のすりコハク、茶杓にギヤマンのメダカで涼しさを感じていただきました。お茶碗にアサガオで季節感を、アマビエでコロナ退散、さらに棗に六瓢を使って健康を祈りました。更好棚に最後に飾る蓋置には、エカテリンブルグで文化交流の中で頂戴したグジェリ焼きを使い、思い出も披露しました。

茶席で重要な掛け軸には「一期一会」。ロシアでもご存知の方が多いのですが、改めて意味を説明して出会いの大切さをお互いに痛感することとなりました。



小豆餡が苦手な方が多いので厳選した栗餡の主菓子は大変好評で、14日の麻布区民センターでのお茶会(21年11月号掲載)にも小布施のものを使用しました。会が終わっても、店の名前を聞かれたり、今までのお茶会で一番おいしいお菓子でした、とロシアにお土産として持って帰りたい

など、うれしい言葉をかけていただきました。

作法としてのお菓子の取り方、お茶碗の扱い、「お先に」「お点前ちょうだいいたします」といった日本語も繰り返しました。皆さんすぐに覚えてくださり、茶道で大切なお客様よりは、むしろ大使館の方々の方が上手ではないかと思われま

す。日頃、海外で文化交流に熱心に関わっておられるからなのでしょう。ジェームズさんも黒一点で慣れないお運びを一所懸命しながら、時折、習いたてのロシア語を混ぜて参加してくれました。山岸先生のお花も華やかでありながら早めの秋を感じられる見事なものでした。通訳のオクサーナさんはいつも頼りになります。

大使館の皆さんも十分に楽しんでくださったのでしたら幸いです。(副会長)

ロシアに帰化した漂流民善六が「通訳キセリョフ」として上陸した地・函館

倉田 有佳

昨年10月30日、「石巻若宮丸漂流民の会」設立20周年記念イベントとして「オンラインで結ぶ 若宮丸漂流民世界一周の旅」が開催された。若宮丸の出航地石巻の会場と、漂流民ゆかりの国内および海外の地(アラスカ、サンクトペテルブルグ、ブラジルのフロリアノポリス)とが結ばれた。

函館は、「ゴロヴニン事件」解決のために、「ディアナ号」副艦長リコルドに請われた善六が、「通訳キセリョフ」として、漂流後初めて上陸した日本の地である。倉田からは、「ディアナ号」の投錨地「山背泊」や日露の会談場所「沖の口番所」周辺の現在の映像を交えながら報告した。

「沖の口番所」は、蝦夷地に出入する旅人、貨物を検査し、税金を徴収する場所で、ゴロヴニンやリコルドの手記には там о ж н я (税関)と記されている。文化十年九月十七日(西暦1813年10月9日)、会談は始まった。リコルドが、「会見が友好的な雰囲気である」と口火を切り、善六がこれを日本語に訳した。幕府高官たちは笑顔を見せた。日本側の返答を通訳するために善六は待ち構えていた。ところが、その声は善六に聞き取れないほど小さく、突然、高官の隣に座っていた下級役人(村上貞助)が上手なロシア語で通訳した。これにはリコルドも驚いた。その先の通訳は、貞助一人が行った。

在ロシア20年、40代半ばの善六は、人生を懸けて日



「北夷談附図」に描かれた函館上陸時の善六(右端)(函館市中央図書館蔵)

可抗力とはいえ、国外に出てしまい、しかも帰化した。善六の身を案ずるリコルドには、「私は日本人ではありません」と言い切った。そこまでの決意で臨み、日露双方の通訳を務めると思っていたにも関わらず、リコルドの通訳の座まで奪われてしまったのである。

村上貞助は、松前に幽囚中のゴロヴニンからロシア語を学んだ。1年程度と考えられるが、ゴロヴニンを驚かせるほど上達が早かったという。語学の才に加え、松前藩の命を受け、ゴロヴニンというすばらしい師の下で集中的に学習習得したロシア語と、長年のロシア生活で身に着けたロシア語の差は歴然としていたであろう。

だが、善六の弱点は日本語にあったのではなかろうか。会談中の幕府高官の「笑い」(リコルドの手記) Записки флота капитана Рикорда о плавании его к японским берегам в 1812 и 1813 годах и о сношениях с японцами. では Начальники улыбнулись. は、リコルドの発話に対する社交辞令的な「笑い」か、それとも善六の日本語の拙さに対する「薄笑い」だったのか。

いずれにせよ、リコルドは、上官ゴロヴニンの釈放がかかったこの重要な局面では、貞助に通訳を一任すべきと瞬時に判断したのだ。善六はどれほど落胆したことか。

こうして善六は、リコルド、そして釈放されたゴロヴニンらと「ディアナ号」でロシアへ戻った。だが、14日間を過ごし、最初で最後となった日本上陸の地・函館のことは忘れなかった(次回、「函館の二代目ソ連領事キセリョフ」へ)。

(ロシア極東連邦総合大学函館校教授)

コロナ制限措置再導入下のモスクワ

西山 美久

新型コロナウイルスの感染者と死者の増加を受け、プーチン大統領は10月30日から11月7日までを非労働日とすると発表した。ロシアの中でも特に感染者が多いモスクワでは、ソビヤーニン市長が10月28日から11月7日までを非労働日に指定した。今回の措置では、生活必需品を扱うスーパーや薬局等を除き、娯楽施設や全ての飲食店等が一斉休業にされた。もっとも、経済への打撃を考慮し、飲食店がテイクアウト形式での販売は認められた。これを受けメディアはロックダウンの再導入と一斉に報じたが、ペスコフ大統領報道官はロックダウンではないとすぐさま反論した。曰く、都市間の移動は制限されておらず、厳密な意味での都市封鎖（ロックダウン）ではないという。

今年は、11月4日（木）の「民族統一の日」のほかにも、5日（金）が振替休日であり、そして土日を入れると4連休となる。この11月の連休中に旅行を計画する人が多数いたようだ。もっとも、ワクチンを相互承認していない欧州への旅行は依然として難しく（いや、むしろ面倒で）、ソチやサンクトペテルブルクといった国内地方都市への旅行が注目を集めた。試しにモスクワ・サンクトペテルブルク間を結ぶ高速鉄道サブサンのチケットの売れ行きをインターネットで調べたところ、空席は残りわずかとなっていた。そうした中、プーチン大統領が全国規模での非労働日を導入すると、連休が長引いたと勘違いした（思い込んだ）の



か、サブサンのチケットが勢いよく売れ、各列車はいずれも満席状態であった。

ところが、サンクトペテルブルク市行政が感染拡大を食い止めるために、モスクワと同様に飲食店等の営業に制限を加えたほか、ホテル滞在にあたってQRコードの携帯を義務付けた。同市行政関係者は、今回の措置について人の流れ

を抑制するためだと明かした。ペテルブルクへの旅行が事実上中止に追い込まれる形となってしまう、サブサンのサイトを確認したところ、当然だが、チケットの多くがキャンセルされていた。

さて、感染者の急増と非労働期間の導入にもかかわらず、モスクワ市では大きな混乱は生じなかった。むしろ、コロナにもう慣れてしまったのか、非労働期間中とはいえ自宅で静かにしているのではなく、市内を散歩したり、テイクアウトしたコーヒーやサンドイッチといった軽食を食べながらブラブラしたりする人もいた（写真は赤の広場に隣接する通り。筆者撮影）。また、出張者などホテル宿泊者に限ってホテル内のレストランが利用可能になるとのニュースが流れると、わざわざ宿泊する人もいたという。

コロナ感染者が日本よりもだいぶ多いモスクワであるが、今のところ大きな混乱もなく、新年を迎えようとしている。

（北海道大学）

ペロゴリエ

畔上 明

コロナ禍2年目ということで皆様がたいへんな思いをされていらした2021年の年末も押し迫ろうという12月、私はエンターテイメント性の強い4本のロシアの映画を観に行き参りました。

師走の時期に観た映画は、まず「ユナイテッドシネマ幕張」というシネコンでワジム・シメリョフ監督「1941 モスクワ攻防戦 80年目の真実（原題：ポードリスク士官候補生）」、そしてアンドレイ・ボガティョフ監督「ナチス・バスターズ（原題：赤い亡霊）」です。第二次世界大戦のそれぞれの悲惨な物語について戦争を知らない世代が真摯にしかし分かり易く見応えたっぷりに描いた作品でした。

さらに、時代の変化を感じ印象的だったのが「イオンシネマ市川妙典」で観たドミトリー・ディヤチェンコ監督「ペロゴリア戦記 第1章：異世界の王国と魔法の剣（原題：最後の勇者）」と「ペロゴリア戦記 第2章：劣等勇者と暗黒の魔術師（原題：最後の勇者：悪の根）」です。この2作で「ウォルト・ディズニー・カンパニーCIS」という会社がモスクワの中心街「ロッテ・プラザ」ビルに2006年に設立されていたことを私は初めて知り、映画の冒頭にシンデレラ城の映像、その前をバーバ・ヤガーが住む小屋、鳥の足がついたロシアのおとぎ話でなじみの小屋がびよびよ飛び跳ねて横切って出てくる姿を目にして先ずは驚いたものです。

現代モスクワの青年イワンがひょんなことから、古代ロシア



のペロゴリエへと迷い込み、口承叙事詩フィリーナで描かれた勇者イリヤ・ムーロメツの息子であると告げられます。そしてアフナーシェフの民話集に出てくるような、不死身のコシチェイ老人、蛙に姿を変えられた賢女ワシリサ、600歳の魔女バーバ・ヤガーと空飛ぶ礪臼、海のツァーリで水を操るヴォジャノイたちとの関わりが面白く描かれていきます。第2章では、まんまるパンのコロボークまで登場して、楽しさは益々膨らみます。しかし、これまでにない型破りなロシア映画の日本での人気はいまひとつだったようで、第1章を観た時の館内は私ただ一人、第2章がcausing 7人の観客でした。

コロナ対策に十分な配慮がなされた施設ではあっても、都会と比べると地方の映画館への客足は淋しいものがあります。

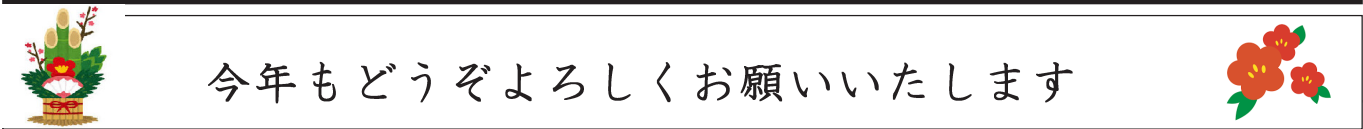
イワンが異世界に迷い込むきっかけとなるのは最初ウォータースライダーを潜り抜けたことによるものであったのですが、ペロゴリエで手にした魔法の剣をくると動かして渦巻きをつくとその中に入ることでおとぎの世界と現代のモスクワとを行き来できるようになっていくのです。

第2章の最後、大地に根を生やした悪の権化とイワンが対峙する場面で、剣先に渦巻きをつくり悪の根共々、モスクワの街へ降り立ちます。戦っていた悪の権化は、大地に根を付けられず、ビルの地下を破れども地下5階まで駐車場が続いているというオチで、イワンに負けてしまう、そんな現代ロシアへの風刺で締めくくられる面白さがありました。（「プロコ・エアサービス」シニア・アドバイザー）



今年もどうぞよろしく願っています

在日ロシア連邦大使館 在日本特命全権大使 ミハイル・ガルージン 〒106-0041 東京都港区麻布台 2-1-1 Tel:03-3583-4224 Fax:03-3505-0593	日本対外文化協会 会 長 松 前 達 郎 〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23 東海大学高輪キャンパス 3 号館 2 階 電話:03-6277-4209 FAX:03-6277-4210 http://www.taibunkyo.com
在日ロシア連邦通商代表部 通商代表 パブレンコ・ピョートル 〒108-0074 東京都港区高輪 4-6-9 Tel:03-3447-3281 Fax:03-3447-3221 E-Mail:tokyo@minprom.gov.ru facebook.com/TradeRepr.of.Russia.in.Japan	NPO 法人 日本・ロシア協会 会 長 高 村 正 彦 理事長 西 村 康 稔 〒106-0041 東京都港区麻布台 3-4-10 麻布誠工社ビル 3 F A 電話:03-5797-7081 FAX:03-5797-7082
在日ロシア連邦大使館 国際人道協力連邦庁(ロシア連邦交流庁) 在日代表部 イーゴリ・チトフ 参事官 文化担当 東京都港区麻布台 2 丁目 1 番 1 号 電話 03-3583-4224 Fax03-3505-0593	日本ユーラシア協会 会 長 竹 田 正 直 〒156-0052 東京都世田谷区経堂 1-11-2 電話 03-3429-8231 Fax03-3429-8233 http://jp-euras.org/ja
有限会社 ロシアンティ 代表取締役 岩 橋 和 治 東京都台東区浅草橋 1-6-2 Tel/Fax:03-3863-3226	特定非営利活動法人 日本文化交流センター 理事長 平 岡 幸 雄 事務所〒243-0427 海老名市杉久保南 2 丁目 7 番地 10 号 Tel/Fax046-238-3311 携帯 090-5764-8305 E-Mail:hira8128@peach.ocn.ne.jp http://www2c.airnet.ne.jp/jarucul/index.HTML
ナウカ・ジャパン合同会社 代表 村 上 直 隆 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-34 Tel:03-3219-0155 Fax03-3219-0158 https://www.naukajapan.jp	東北アジア学術交流懇話会 理事長 千 葉 聡 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41 東北大学東北アジア研究センター内 Tel:022-795-6009 http://www.cneas.tohoku.ac.jp/gon2/



NPO 日口交流協会 会長 朝 妻 幸 雄 NPO 日口交流協会 〒 106-0041 東京都港区麻布台 3-4-14 麻布台マンション 401 号室 E-mail: nichiro@nichiro.org Tel: 03-5563-0626	株式会社ケット科学研究所 取締役相談役 NPO 日口交流協会 副会長 江 守 元 彦 東京都大田区南馬込 1-8-1 電話 03-3776-6611
特定非営利活動法人 日口交流協会 副会長 服 部 文 男 技術士 (建設部門) 東京都港区麻布台 3-4-14-401 電話 03-5563-0626	NPO 日口交流協会 専務理事 内 堀 學 東京都港区麻布台 3-4-14-401 電話 03-5563-0626
NPO 日口交流協会 常任理事 中小企業診断士 (沖縄県中小企業診断士協会所属) 博士 (商学) 岡 崎 好 典 東京都港区麻布台 3-4-14-401 電話 03-5563-0626	NPO 日口交流協会 常任理事 島 山 堅 蔵 事務局長 東京都港区麻布台 3-4-14-401 電話 03-5563-0626
NPO 日口交流協会 常任理事 社団法人古流松藤会会員 山 岸 ひ さ 子 東京都港区麻布台 3-4-14-401 電話 03-5563-0626	NPO 戸田日露交流協会 理事長 NPO 日口交流協会 常任理事 水 口 淳 〒 410-3402 静岡県沼津市戸田 410-4 携帯 080-4520-3715 Fax0558-94-4256 E-Mail: info@hedakan.com
NPO 日口交流協会 常任理事 坂 本 斐 子 東京都港区麻布台 3-4-14-401 電話 03-5563-0626	特定非営利活動法人 日口交流協会 АНО Общество Японо – Российских Связей 常任理事 松 本 泰 男 Matsumoto Yasuo NPO Japan-Russia Exchange Society 3-4-14-401, Azabudai, Minato-ku, Tokyo, 106-0041 TEL 03-5563-0626 FAX 03-5563-0752

今年もどうぞよろしく願いいたします

株式会社三多摩不動産 代表取締役 NPO 日口交流協会 常任理事 亀 田 慶 一 郎 本社〒187-0041 東京都小平市美園町1丁目33番1号 (西武新宿線・小平駅前) Tel:042-341-4041 Fax:042-341-9565	NPO 日口交流協会 常任理事 日 向 寺 淳 一 〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-19-7 コスモ板橋蓮根201 TEL:03-3969-6503 Mob:090-5445-2236 E-Mail:hyugaji@kenbun.org
NPO 日口交流協会 理事 須 田 毅 NPO 法人ドルチェ邦楽合奏団神奈川支部事務局長 相模原市議会議員 〒252-0334 相模原市南区若松1-13-9 Tel/Fax042-743-6284 E-Mail:sudatakeshi@paw.hi-ho.ne.jp http://www.paw.hi-ho.ne.jp/sudatakesi/	東京医労連 健康文化会医療労働組合 執行委員長 鈴 木 和 久 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢1-6-4 アパートメントあずさわ1F TEL:03-3968-8137 FAX:03-3966-6107 E-mail:rouso@kenbun.org
荒川区伝統工芸技術保存会 手描き友禅師 荒川区無形文化財(保持) 笠 原 以 津 子 〒116-0002 荒川区荒川3-61-4-1203 Tel:03-5811-8228 080-5442-3518 itsukoko@sepia.plala.or.jp http:itsuko.sakura.ne.jp	NPO 日口交流協会 理 事 土 屋 正 彦 東京都港区麻布台3-4-14-401 電話 03-5563-0626
大 道 寺 会 (大道寺小三郎氏 第7代日口交流協会 会長)	NPO 日口交流協会 常任理事 滝 波 秀 子 東京都港区麻布台3-4-14-401 電話 03-5563-0626



大道寺小三郎氏
(国館市出身)

連絡先/大道寺会事務局
(弘前パークホテル内)

☎0172-31-0089

http://daidoji-kai.com/

年会費1,000円 どなたでも参加可 年1回パーティ開催

大道寺小三郎氏 (1925-2005) の社会貢献活動を顕彰する会

・第7代 日口交流協会 会長 (2001年4月～2005年7月)

・みちのく銀行 元会長、青森 経済同友会 元代表幹事

・2003年ブーチン大統領令による「友好勲章」を受章

【日口交流活動の一例】

・青森－ハバロフスク便を開設し、2,000人以上の

日口の子供たちを互いの国に招待。

・'99年、ロシアに初の日本の銀行「みちのく銀行モスクワ」を設立。

他は「函館日口交流史研究会」HP内「日本と青森の交流史」にて紹介。

http://hakodate-russia.com/main/letter/32-01.html

大道寺小三郎氏 ロシア交流に関わる主な受章

95年7月 ハバロフスク市「名誉市民賞」受章

95年8月 ユジノサハリンスク市「名誉市民賞」受章

96年10月 ブレハノフ経済アカデミー「名誉博士号」受章

97年4月 ロシア国立極東総合医科大学「名誉教授号」受章

ロシア国立ハバロフスク総合教育大学「名誉教授号」受章

97年7月 日本国 外務大臣賞 受章

00年12月 ロシア連邦「名誉領事」に任命

01年4月 「日口交流協会」会長に就任 (前任 西澤潤一会長より引継)

03年1月 極東国立総合大学(在ウラジオストック市)教育部門「名誉博士号」受章

03年10月 ブーチン大統領令によるロシア連邦「友好勲章」受章

03年12月 ロシア大使館にて「友好勲章」受章 伝達式 ならびに

パノフ大使主催の受章記念レセプション開催

04年5月 サンクトペテルブルグ「建都三百周年 記念メダル」受章

(05年7月21日 白血病により逝去 享年80歳)

今年もどうぞよろしく願いいたします

露日協会 会長 イーゴリ・ロマネンコ ru-jp.org/orya.htm	ハバロフスク対外友好協会「すずらん」 理事長 ゴーヤ・ロイトマン nina-khv@narod.ru
オレンブルグ国立大学日本情報センター センター長 リュドミーラ・ドカシェンコ Pobeda Abe., 13, Orenburg, Russia http://www.osu.ru	露日協会エカテリンブルグ支部 支部長 オリガ・アキメンコ エカテリンブルグ情報文化センター「日本」 センター長 エレーナ・クライノワ http:www.ikc.japan.com
日本文化センター「ハマナス」 会長 ナタリヤ・ソボレワ 682860, Russia, Khabarovsk territory, Wanino	露日協会サラトフ支部 支部長 マリーナ・ジヤコワ Tel : 8-917-201-71-21
サンクトペテルブルグ 露日友好協会 会 長 アレクサンドル・フィリポフ 副会長 エカテリーナ・エヴセエワ 事務局長 ニーナ・ツベトコワ 60, Leninsky street, 191025, Sankt-Peterburg	クラスノダール日本センター「改善」 センター長 オリガ・アンドレエワ http:jckk.ru/
ロータリークラブ「サラトフーセンター」 会 長 ナタリヤ・ラリーナ 書記長 アレクセイ・ワシリエフ www.rotary.saratov.org/	ロシア文化教育センター グロバス センター長 ナタリア・ベレゾフスカヤ www.globus.jp.net